学校番号 C2101　桃谷（通）　　令和2年度 家庭科

科目名 ：	家庭総合	単位数 ： 4 単位	必要スクーリング出席回数： 8 回
使用教科書 ：家庭総合 明日の生活を築く （開隆堂）			
学習書 ・副読本 ：なし			

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レポート [R]	12 枚	4 枚	4 枚	4 枚
スクーリング [S]	18 回	7 回	6 回	5 回
テスト [T]	2 回	○	×	○
その他 （課題・実習等）				

1 担当者からのメッセージ（学習方法等アドバイス）

○家庭生活に関心をもち、積極的にとりくみましょう
・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

2 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b ：思考・判断・表現	c ：技能	d ：知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び、衣食住、消費生活などについて関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付ける。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し想像する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	・記述の点検（レポート）	・記述の点検（レポート） ・定期考査	・記述の点検（レポート） ・定期考査	・記述の点検（レポート） ・定期考査

・学年末に５段階で評価する。

4 学習の活動

学期	単元名	学 習 内 容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1範囲	人とかかわって生きる	第１部１章　自分を見つめる 第１部２章　家族・家庭と社会 第３章　子どもの発達と保育・福祉 第４章　高齢社会の生活と福祉 第５章　共生社会における地域や家族	○	○	○	○	a ：関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b ：日々の生活について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c ：他者と適切に関わることができたり、子どもの健やかな発達を支える技術を身につけている。 d ：家族や社会の一員として役割をはたすために必要な知識を身に付けている。	・レポート ・定期考査
2範囲	生活をつくる　生活を営む	第３部１章　消費者市民として生きる 第２部１章　食べる	○	○	○	○	a ：関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b ：生涯を見通した生活の計画・管理について考え工夫している。 c ：生活の計画・管理、設計を立案するための技術を身に付けている。 d ：健康で安全な生活を営むために必要な知識を身につけている。	・レポート
3範囲	生活を営む　生活をつくる	第２部２章　着る 第２部３章　住まう 第９章　生涯の生活設計	○	○	○	○	a ：関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b ：生活の課題をみいだし、その解決を目指して考え、適切に判断し表現している。 c ：環境に配慮した生活を営むための技術を身に付けている。 d ：安全で快適、かつ健康な生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	・レポート ・定期考査

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：技能　　d：知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。